



ふたばランド保育園は玄関から奥まで長い廊下が通っています。その長さなんと約50メートル！園に見学にいらした方はまず長さに驚き、素敵な環境ですねと話してください。

にじぐみの子どもたちはあんよが上手になってくると、一番奥の保育室から玄関の方までヨチヨチと歩いて移動して給食室を覗いたり、大きい子のクラスに顔を出して歌を聴いたりしています。そして、年中・長児は雑巾掛けをしたり、夏にはお部屋さんごっここの屋台が並ぶこともあり、廊下は大活躍です。

そしてもう一つの顔。子どもたちの作品のギャラリーになり、各学年が描いた絵や製作物が飾られています。これは、クラスの中に飾るのではなく、廊下に展示することで皆さんに見ていただきたいという思いからです。お子さんの作品を観たときに、決して上手下手の判断ではなく、周りの子どもと比べることもなく、「今」しかできない表現を是非認めてあげてください。そして、こんな作品を描けるようになるのかもしれないとお子さんのこれからを想像したり、こんなときもあったなとお子さんのこれまでを思い返したり、他学年の作品も観て頂けると嬉しく思います。

作品を飾るときには、名前を着けたり繋げたり、バランスを見ながら貼ったり吊るしたりと様々の工程があります。子どもたちや保護者の皆様の喜ぶ姿を想像しながら、これからも職員で協力しながら飾っていきます。今後も、季節や行事のたびに彩り豊かになっていく長い廊下の環境を、お子さんと会話をしながら楽しんでいただけますと幸いです。

園長 梶原 秀一

今月の予定

保育参観

5/13~17 (月~金)

保育参観を通じてお子さんの園での様子を感じて頂ければと思います。普段と違う姿も見せる場合もありますので、おおらかに受け止めてあげてくださいね。詳細は保育参観の配布した手紙をご覧ください。

おべんとうデー

5/15 (水)

子どもたちが大好きなお弁当の日です。みんなとても嬉しそうに、幸せそうに頬張っています！

気温が上がってきましたので、中味はよく冷やして、保冷剤を付けてお持ちください。また、乳製品などの要冷蔵のものはお控ください。

交通安全教室<年中・長児>

5/23 (木) 13:30~

今回は「信号の並びと道路の渡り方」について教えていただきます。交通ルールや道路の歩き方などを、ご家庭でもお子さんと一緒にご確認くださいね。

リトミック

5/28 (火)

今年度も中島よし子先生に天野式リトミックをご指導頂きます。音に合わせて身体を楽しく動かす中で、集中力やリズム感など養われていきます。

カレーライスの日

5/24 (金)

今回からかえるGのみんながフルーチェ作りをしますよ～！きりんG、ぞうGのみんなもエプロン、三角巾を忘れずに！

誕生会

5/30 (木) 10:00~

5月生まれのお友だちの誕生会です！プレゼントとなる出し物は毎回真剣に職員で練習に取り組んでいます。今回もお楽しみに！

内科検診は現在調整中となっております。調整がつき次第、皆様にお伝えさせていただきます。ご迷惑をお掛けしてしまい申し訳ありません。歯科検診、尿検査につきましては、5月配布のほけんだよりをご覧ください。

お知らせ・お願い

★駐車場について

皆さんもご存知の通り、園の駐車場は停められる台数に限りがあります。みなさんで心地よく園生活を過ごすことができるように、お迎えの際は次に駐車場を利用する方のことを考えた行動をお願いいたします。お迎え後、長い間園に留まっていたり、園の駐車場に停めたまま隣の公園で遊ぶことのないようにご協力をお願いいたします。

★着替えの補充をお願いします

日中は気温が高い日が増えてきました。汗をかいたり汚れたときに着替えられるように、着替えケースの中に半袖等の薄手の衣服の補充をお願いします。また、これからの時期だからこそできる、絵の具遊びや泥遊びもどんどん取り入れていきますので、汚れても差し支えない服、動きやすい服のご用意を引き続きお願いいたします。

★保護者会総会書面決議について

先日、保護者会総会資料を各ご家庭に配布させていただきました。期日までに意見の申し出がなかったことを、本部役員の皆様にお伝えし、総会資料記載の通り進めていくことになりましたので、園だよりにてお知らせさせていただきます。

★インスタグラムについて

先日の保護者会本部役員会の議事録にも載せていただいておりますが、園のインスタグラムを開設しております。載せる内容としては子どもたちの製作物や園の取り組み等を予定しています。お子さんの顔や名前など個人情報が特定されるものは一切載せませんので、ご了承ください。お子さんの後ろ姿、手など、特定されない範囲で載せる可能性はありますが、気になる方は事務室までお伝え下さい。

futabaland_ushiku

「ほめて育てる子育て」 「ほめない子育て」

難しい時代になった。ちょっと注意、叱責しただけで心が折れてしまう若者が多くなった。折れるうちはまだいい。大したことでないのに、自殺してしまふことだってあるという。若い人に何かいうのに、先輩・上司はビクビクしているのではないのか。決してよいことではないが、私の育った時代は、ゲンコツ・ビンタは当たり前だった。だいたい〇〇ハラなんて言葉はなかった▼若い人の60%以上が「人前でほめられたくない」と考えているという。「ほめる時は、人前の方が効果的」と、何かで読んで実践してきたのに、どうして？人前で誉められたくないのは、自己肯定感の低さがあり、褒めるだけでは自己肯定感には育たないという。▼現代は、子どものギャング集団が、大人の干渉から逃れ、地域を自由に走り回って遊び、ぶつかり合い、協力し合い、沢山の体験を通して自分を作る環境は少ない。親も教師も神経質に関わるようになっていく。いつも他人と比較され、評価されていると、子どもは親の顔色を見ながら、ほめられるように行動するようにになり、自主性・自信を失い、依存的になる。いわゆる大人に都合のよい「良い子」になつてしまふ。▼昔、「誰かと自分を比較しなくなった時に、自分が好きになりました」というコマーシャルがTVで流れていた。子どもは大人の視線を感じて、自分が誰かと比較されていると感じている。自己肯定感とは、他人との比較、大人の評価の中では育たない。顔を真っ赤にして、逆上がりやチャレンジしている子に、余計な口出しをする、スーと引いて去つてしまふことがある。ある時、パッとできると、頼みもしないのに、「見せてあげる」と鼻を高く、誇らし気にやってみせる。「すごい！」「やればできるんだ」と共感すると、自尊心、肯定感を高める。自主的・主体的に自由に、夢中になって、辛く苦しい状況を乗り越え、「できた」「やった」と、思う時、自己肯定感を高める。大人は、そういう時に、「共感」するだけでいい。またあまり叱り過ぎると、鬱屈してしまう。危険なこと、弱い者いじめなど、ルールに反しない限り、余計な口出しはせず、チャレンジ、試行錯誤する環境に、置いてあげるといい。

理事長 浅田 精利